

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑥まちづくり等分野(6/6)

	評価区分 (※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
鳥取発次世代社会モデル創造特区 (鳥取県)	正	2.6	3.0  進捗度 ・e-モビリティ交通サービスの実現 34%  ・再生可能エネルギーによる災害時集落無停電サービスの実現 (※)  ・健康情報を高度利用する健康づくりサービスの実現 122%  (※)は定性的評価	2.4  財政支援等 ・超小型モビリティ導入促進事業  地域独自の取組 ・とっとりEVカーシェア推進事業  ・鳥取県地域活性化総合特区推進補助金  ・ライフサイエンス推進事業等	2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの実績に乏しかったカーシェアリング登録者数や電動モビリティの増加等で成果が見られた。</li> <li>無停電サービスについては、工事の進捗に期待したいが、既に明らかになってきている諸課題(維持管理、運営体制等)について、どのような対策をとるのか、十分な検討を行う必要がある。</li> <li>健康づくりサービスについて県民の理解を進めるためには、検査結果の健康サービスへの活用法を明確にする必要がある。</li> <li>特区として規制の特例措置等を活用するよう、必要な措置を改めて検討した方がよいのではないか。</li> </ul>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。